

研究データ利活用協議会平成29年度第1回研究会  
「デジタルアーカイブ」と「研究データ」

～データの保存と活用へ、ライブラリアンとアーキビストの挑戦

【国内事例報告】

# 研究データとしての古典籍： その必要と活用

【日時】 2017年11月6日（月） 15:15～15:30 （15分）

【会場】 国立国会図書館 東京本館 新館講堂

新日本古典籍

総合データベース

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター

副センター長 山本 和明

<http://kotenseki.nijl.ac.jp/>



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

# 歴史的典籍NW事業の目標と現在

2014（平成26）年度から人文系で初めての大規模学術フロンティア促進事業として「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」（歴史的典籍NW事業）がスタート

■ **期間: 2014-2023**

■ **Goals:**

(1) **30万点の画像データの作成** ⇒ **あらゆる分野の古典籍の全冊画像**をWeb上で公開（研究の基盤構築）。

現状：約 **74,000点** (約 **10,250,000コマ**の画像)  
・ 約 **600,000点**の書誌  
・ 約 **22,000コマ**にタグ (約 120,000 タグ)

(2) 国際共同研究ネットワークの構築

**国の目指す方向！**

(3) 国際共同研究の推進 **異分野融合研究**・総合書物学など

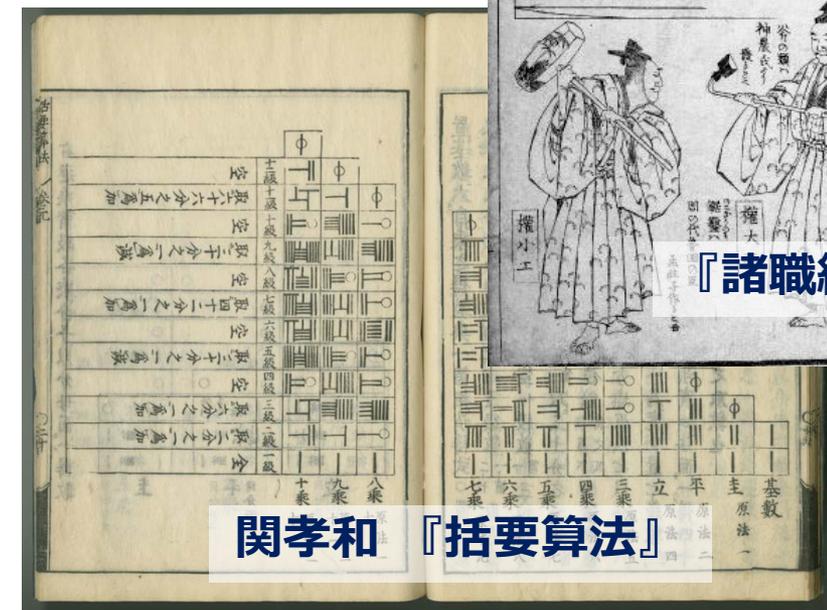
# 古典籍いろいろ (多様なジャンル)



貝原益軒 『大和本草』



画本虫撰 (狂歌絵本)



関孝和 『括要算法』



『諸職絵本葛飾新鄙形』

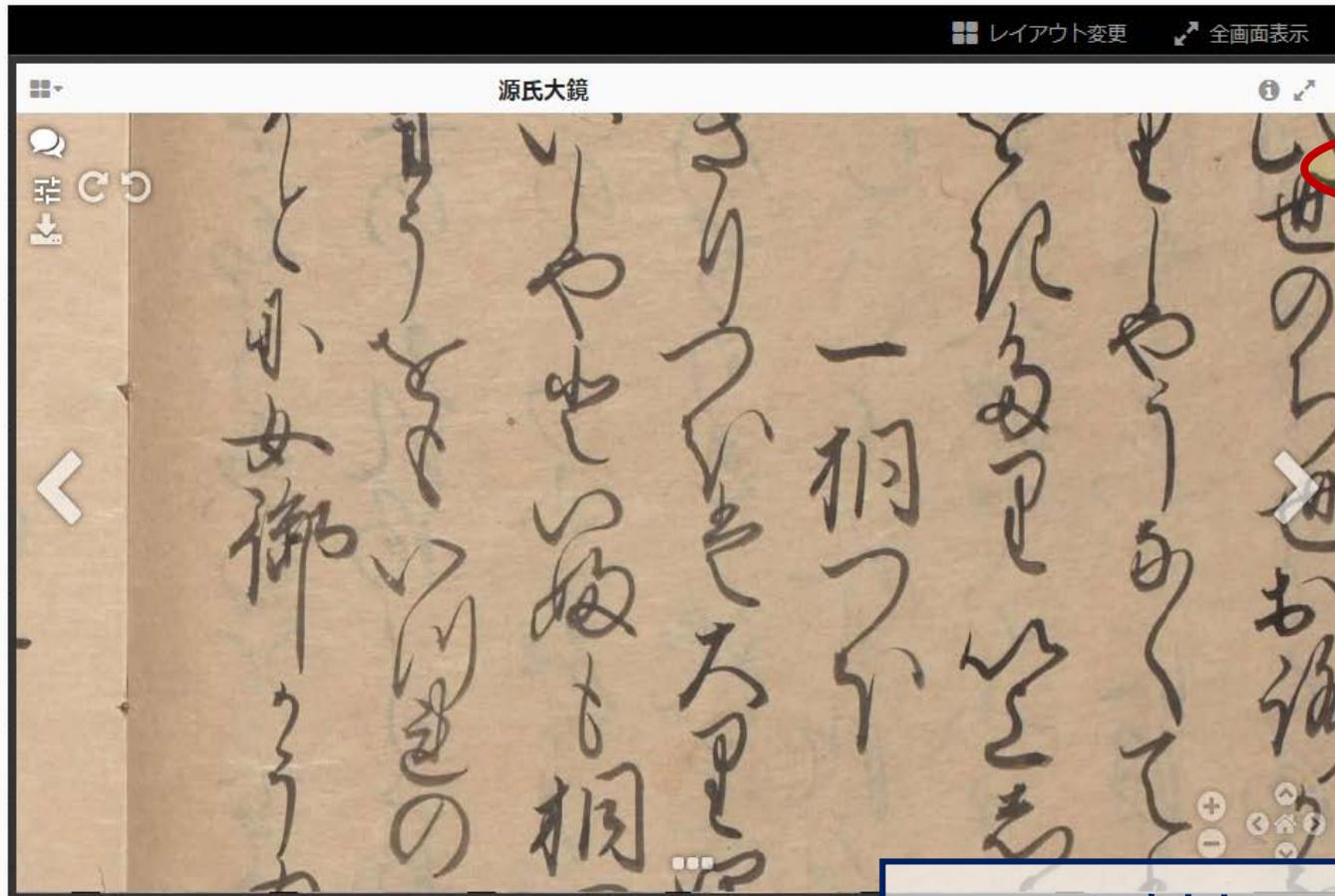


『菓子話船橋』

# 新日本古典籍総合DB 典籍 1つ1つにDOI付与

新日本古典籍総合データベース

光源氏一ふの哥/ならびにこと葉 (ひかりげんじいちぶのうた/ならびにことば)



光源氏一ふの哥/ならびにこと葉

【簡易書誌】 [書誌詳細](#)

書誌ID: 200007738

DOI: 10.20730/200007738

刊写: 写

冊数: 3冊

コレクション:

国文学研究資料館 貴重書

分類: 物語

ライセンス



複数画像をレイアウトして表示している場合は、元の画像のライセンスのみが表示され、後から表示した画像のライセンスは表示されません。ご注意ください。



**DOI**を付与し永続性を担保

URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007738/viewer/1>

Manifest URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007738/manifest> 

# 国文研における古典籍資料へのコード付与ルール

- ① 図書番号（登録番号）…モノとしての受入順に付与
- ② 請求記号…分類体系にのっとり付与される
- ③ **書誌ID**…目録データベースに登録された時点で付与
- ④ パーマリンク…書誌IDレコードごとに（リンクURL）
- ⑤ **DOI**…**画像公開時**に書誌ともども付与

**DOI**は当館の**書誌ID**をもとに作成  $10.20730/\text{書誌ID}$

書誌ID…**9桁の半角数字**からなる。

【先頭数字でそのデータ種類が分かる】

2 = 国文研に**所蔵する和漢古書**（原資料を当館所蔵）

1 = **当館所蔵のマイクロフィルム・デジタル資料**

0 = 原資料ではなく公刊等された各所蔵目録類からデータ採録したもの【古典籍総合目録書誌DATA】

書誌IDから ⇒ **パーマリンク：書誌のみ**

⇒ **DOI：書誌＋画像＋テキスト…**

**画像のあるものにDOI**（研究データなどの研究資源という位置付け）

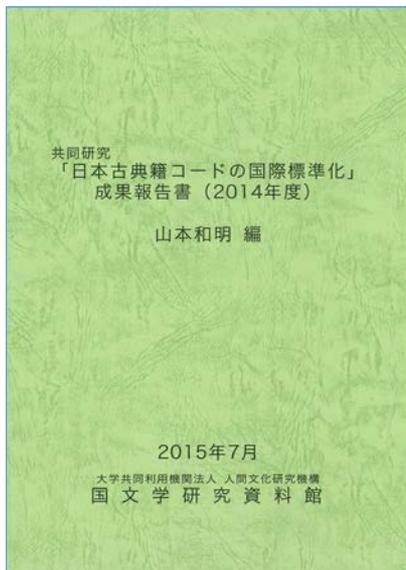
画像単位ではなく**作品単位** ⇒ 引用の煩わしさの回避

# 研究データ公開にあたっての考え方

**結果の安定性**（いつでも確認可能）の確保

そうでなければ**研究基盤構築**と言えない！

古典籍を**現代に生かす** = 大規模学術**フロンティア**促進事業



国文研学術情報  
リポジトリより公開

## 【検討の経緯】

**\* はじめにDOIありきではなかった**

\* 国文研主導共同研究

期間：平成26(2014)年4月～（2ヶ年）

趣意書：本研究では具体的に、簡易でわかりやすい典籍についてのコード、また**画像コードを提供することが利用者の利便に直結するもの**であると考えた。（略）現在用いられている“文庫コードー請求記号”はユニークに特定することが可能ではあるが、（略）今後も有効であるのか。**どのようなコードが、活用の可能性を最大限に引き出せるのか。**また、**国際標準**として通用するのか。



# 人文学研究における基盤データは「書物」



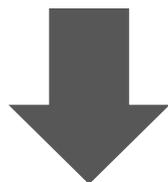
資料の「断片・引用」の上に論を構築する学問

書物…大学・図書館等所蔵

研究者：各地の図書館等に訪問して書物を閲覧、複写請求等して論文に引用  
引用の際、良心的な研究者は請求番号等記載



検証の手続きとして同様の閲覧手続きが必要 《実証》



検証を怠りがちな現状

論拠となる作品画像に、安定的に辿り着けるDOI  
論文等に引用



検証可能な人文学研究の構築へ

# DOIはWebでの閲覧請求番号

人文系ならではの悩み：閲覧状況でキチンと仕分けを

Web上でみた画像を  
どう論文に書いたら  
いいんだろう？

素朴なギモン



この人本当にこの本見  
たんだろうか？  
Web上の情報をコピー  
しているみたいだけど

## いかに表記するか

- 図書館で**原資料**を閲覧…論文に**図書館の請求番号**記載
- WEBで**デジタル画像**閲覧…**DOI等記載**【研究データとして】
- 国文研で紙焼き本、マイクロ等閲覧…その旨記載

研究の衰退：本当にみていないのに見ていると記述する人  
余談だが著名な研究者の翻刻本文でも信頼できない  
⇒だから古典籍画像は必要

# DOIで必要な作品にすぐアクセス

レイアウト変更 全画面表示

優曇華物語



優曇華物語



古典籍は同一書名でも異なるもの多い  
閲覧状況でも分かること分からないことが異なる

多様な古典籍

**データとして使わない手はない！**

(古典籍を) 読める**人文研究者**×読めない**理系研究者等** との**コラボ**

# 異分野融合研究

国立極地研究所との共同研究

## 【研究成果】

国際学会誌「スペースウエザー」  
に論文が採択！

### Space Weather

RESEARCH ARTICLE  
10.1002/2016SW001493

Historical space weather monitoring of prolonged  
aurora activities in Japan and in China

Key Points:  
• The earliest known example of prolonged aurora sightings in Japan was documented on 21–23 February 1204  
• Majority of the prolonged aurora activity events in China (900–1200) occurred around solar maxima rather than solar minima  
• The prolonged aurora activity events did not occur during the Dost Minimum (1010–1050)

Ryuhō Kataoka<sup>1,2</sup>, Hiroaki Isobe<sup>3\*</sup>, Hisashi Hayakawa<sup>3</sup>, Harufumi Tamazawa<sup>3</sup>,



南極の昭和基地で撮影された赤いオーロラ＝国立極地研究所提供

## 定家、京都でオーロラ見た

2017年4月12日  
朝日新聞夕刊10面

平安・鎌倉期の歌人藤原定家が日記「明月記」に書きのこしたオーロラであることが、京都府立総合資料館の調査で明らかになった。定家の日記「明月記」に、1204年2月21日、3月にもオーロラが見え、「山の火事のように重なる」と書かれている。また、同内の別の文献「御堂相承記」にも9月21日から3

極地研など説明 国内最古

1204年の明月記「赤気火事のように」

“観測史上最大の磁気嵐。江戸時代 京都でオーロラ”

国立極地研究所

2017年9月24日  
NHKニュース

国立極地研究所・国文学研究資料館などのグループ  
東丸神社(京都 伏見区)に保存  
文献に詳しい記載 見つける

古典籍は1%しか継承されていない「知」の宝庫

## 【社会貢献活動】

### 市民参加型文理融合ワークショップ開催

市民参加型での  
共同研究の可能性

#### 文理融合のワークショップ

むずかしいタイトルですが、とても面白い試みでした。立川にある研究機関、国文学研究資料館と極地研究所、それに総合大学院大学がひとつになって「何か」をする。研究機関が立川に移転してきて初めての文理融合企画です。何をしたら簡単に言えば、古典の書物からオーロラの記述を探し出しましょうということです。事前申込された方々には若い方も多く、古典が好きな方、オーロラが好きな方、さまざまでした。国文研では2年前から文部科学省の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を進めています。その古典籍共同研究事業センターの副センター長である山本和明先生とオーロラの専門家である極地研究所の片岡龍峰准教授を中心にワークショップが行われ、「吾妻鏡」や「玉葉」など8つの古記録の中にあるオーロラを意味するキーワード「赤気」「白気」「赤雲」「白虹」などを探しました。みなさん静かに作業し、結果今まで偉い先生でも見つけていない発見がありました。市民参加型の取組に、次回はみなさんも参加されてみてはいかがでしょうか。



典籍防災学  
の醸成へ

# 典籍からの復元 江戸料理へのまなざし CODHと共同

公益財団法人 味の素食の文化センター

図書館 研究助成 イベント 出版 アーカイブス 食の文化センター

江戸の図書 (古典籍)

味の素食の文化センターでは、食の文化ライブラリー研究資料館の協力によりデジタル化し、再現技法、礼儀作法、本草、名物案内等を記し、広くご活用ください。

ご利用に際して

古典籍の画像データは、クリエイティブ・コモンズ表示-継承4.0国際ライセンス (CC BY-SA 4.0) の条件で提供される資料です。クレジット表示をすることにより、自由にお使いいただけます。ご利用の際には、以下のような表示をお願いします。

(例) 撮影：国文研/所蔵：味の素食の文化センター

ONLY MI 三越本店 食品フロア 秋のオンリー・エムアイ

江戸ご飯に 食の新しさを探す

江戸料理データセットに見舞われ、決して裕福とは言えない江戸時代。庶民が料理本を片手に試行錯誤・創意工夫して「料理遊」を楽しみ、少しでも食に豊かさを見出そうとする食文化が生まれました。

「江戸ご飯」を各ブランド「江戸ご飯」として再現することによって、世界の楽しさを再発見していただく手助けを

老舗の記憶を味ろう

資料館所蔵

## 江戸料理データセット クックパッドとのコラボ

cookpad 毎日の料理を楽しく 25万レシピ

料理名・食材名 目的・用途 レシピ

バラントイン ティラミス ダイエット トースト 離乳食

クックパッド江戸ご飯のキッチン

三越伊勢丹とのコラボ

2017年9月20日～2週間

味の素食の文化センター  
和食関係古典籍 300点公開

<https://www.syokubunka.or.jp/library/edo-books/>

古典籍が身近な存在へ

社会と繋がる古典籍

# ちょっとお知らせ 古典籍を使った**アイデアソン**開催 いろいろな人とアイデアを出し合いたい！

## 12月8日（金）**大阪駅前**で開催（本日より申し込みサイト解禁）

### 「歴史的典籍オープンデータワークショップ ～切ったり貼ったり、古典籍からなにを取り出そう？～」を開催

日 時 2017年12月8日(金) 15:15～18:00  
※14:30-15:00にキュレーション  
場 所 大阪市立大学文化交流センター  
(大阪市北区梅田1-2-2-600)  
参加費 無料

#### 【開催趣旨】

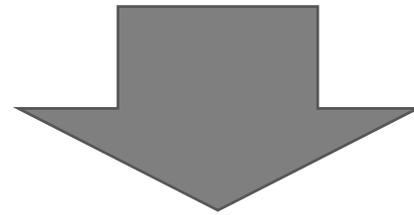
国文学研究資料館では、今後公開予定の30万点の**アイデアソン**を開催します。**人文学オープンデータセット**をはじめとした**オープンデータ**が正式公開され、豊富な画像が題材となります。今回は、古典籍画像や技術をとめサイト)の展開例を考えていただきます  
※アイデアソン…特定のテーマについてグループ

The screenshot shows a webpage for the event. At the top, it says '共有用の URL: http://ptix.at/PU15z8' and has social media icons for Twitter, Like, and Share. Below that is a banner with the title '新日本古典籍 総合データベース' and a subtitle '『日本古典籍キュレーション』(CODH編集) 『日本古典籍データセット』(国文研所蔵)を利用'. The main heading is '歴史的典籍オープンデータワークショップ'. The event details are: '2017/12/08 (金) 15:15 - 18:00 JST'. The location is '大阪市立大学文化交流センター'. There are buttons for 'チケットを申し込む' and '売切・販売終了前に通知'. At the bottom, it says '国文学研究資料館では、今後公開予定の30万点におよぶ画像データの利活用の可能性を探るため、今年もアイデアソンを開催します。人文学オープンデータ共同利用センターの協力のもと公開している『日本古典籍データセット』をはじめとしたオープンデータセットのほか、10月には『新日本古典籍総合データベース』が正式公開され、豊富な画像が題材に加われました。また、画像を切り貼りする技術にも新展開があります。今回は、古典籍画像や技術を活かしたキュレーションサイト(テーマごとに画像を集めるまとめサイト)の展開例を考えていただきます。' and '※アイデアソン…特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、それをまとめていく、参加型のイベント。' and '【日時】 2017年12月8日(金)15時15分～18時00分頃終了予定 ※14:30-15:00にキュレーション等に関する自由参加の予備講習を行います。'.

江戸料理レシピも  
ここから生まれた…

Web社会の進化のなか  
DOIの《元へ辿る力》を活用

だれでも検証可能に  
研究者も、市民の方も



シチズンサイエンスへ繋ぐ

まずはDOI記載を推奨から

←←国文研はそうした取り組みを  
はじめています



岩波文庫  
「源氏物語」

カバー「中野達彦  
カバー図版」「源氏物語絵屏風」末摘花  
(部分、国文学研究資料館蔵  
DOI:10.20730/200019740)



ご静聴ありがとうございました